

大山町の地方創生

第2期総合戦略(大山町ひと・くらし・しごと創生総合戦略)を策定しました!

【策定の背景と目的】

大山町では、平成27年10月に策定した第1期総合戦略(大山町しごと・ひと・くらし創生総合戦略)が、令和元年度でその計画期間を終えました。これまで取り組んできた地方創生事業の検証を踏まえ、第1期総合戦略の取り組みを継続させ、今後5年間の政策の方向性を示しつつ、将来人口目標を実現するため、令和2年3月に第2期総合戦略を策定しました。

【戦略の位置づけ】

第2期総合計画(大山町未来づくり10年プラン・平成28年～令和7年)を、各課が基本的に進めていくための土台の計画とし、第2期総合戦略は、「ひと・くらし・しごとの創生」に特化して施策を進めていく攻めの計画としています。

【対象期間】

令和2～6年度の5年間

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsも取り組みます

第2期 大山町ひと・くらし・しごと創生総合戦略(令和2～6年度)

～一人ひとりの楽しさが循環するまちへ～

目的

・第1期総合戦略の取り組みを継続発展させ、将来人口目標を実現するため

将来人口目標

・社会増減 **+30人**(令和6年度) ・合計特殊出生率 **1.95**(令和12年度)

3つの基本目標と基本施策

(1) 基本目標1《ひと》

すべての年代の楽しさ自給率を向上させる

- ①年少世代の人材育成と総合・探究教育の仕組みづくり
- ②学生世代から就職期におけるキャリア探究の場づくり
- ③若者世代の生活スタイルの多様性に応じた語り場づくり
- ④壮年世代の技術を活かした課題解決の仕組みづくり
- ⑤老年世代の経験をアーカイブ化
- ⑥企業や住民団体等と連携した仕組みづくり

(2) 基本目標2《くらし》

定住、子育て、健康維持のための仕組みをつくる

- ①空き家の掘り起こし
- ②定住施策(PPP/PFI)の推進
- ③家庭から子育て社会の実現
- ④高齢者の身体機能維持のための予防と生きがいがづくり
- ⑤防犯、見守りの推進
- ⑥暮らしに関する選択肢を広げる
- ⑦環境保全活動の推進

(3) 基本目標3《しごと》

地域の人材と新たな人材で産業を発展させる

- ①販路の拡大
- ②事業承継者育成、人材不足への対応、地元雇用の推進
- ③インターンシップを通じた人材の育成
- ④新たな働き方への環境整備
- ⑤新たな産業の育成
- ⑥新たな価値の創造
- ⑦小さな商いや地域商社等への支援
- ⑧観光施策、インバウンドの推進

全体に通じる取り組み

①情報インフラの整備、②テクノロジー(5G)の活用、③SDGsとの関係

検証とフォローアップ

毎年度の検証と事業のブラッシュアップを行い、重要業績評価指標と将来人口目標の達成を目指す。

《5年後の大山町の目指す姿》

- ・大山の魅力を活かして、一人ひとりの楽しさが向上するまち
- ・たくさんの人が集まり、つながり、誰もが安心して暮らせるまち
- ・町内の全ての産業を維持・創出し、安定した生活を送れるまち

*詳細はホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

☎ 企画課 ☎ 0859-54-5202